定期検査中の4号機タービン建屋における油漏れの確認について

東京電力株式会社福島第二原子力発電所

<概要>

(事象の発生状況)

・平成20年3月31日、定期検査中の4号機タービン建屋地下2階において、 タービンの潤滑油が約3.4リットル漏れていることを確認しました。

(今後の対応)

・原因について調査します。

(安全性、外部への影響)

- ・機器への影響はなく、安全性に問題はありません。
- ・本事象による外部への放射能の影響はありません。

(公表区分)

・本事象は公表区分Ⅲ(信頼性を確保する観点)としてお知らせするものです。 詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

平成20年3月31日、定期検査中の当所4号機タービン建屋地下2階の原子 炉に水を送るためのポンプを動かすタービン*用の油タンク(以下、当該タンク)室において、定期検査時に一時的に潤滑油を貯蔵するタンクから当該タンクへ潤滑油の移送作業を行いました。

作業終了後に点検を実施したところ、当該タンクの上蓋から潤滑油が漏れて タンク上部と床に溜まっていることを、午前 10 時 51 分頃、当社社員が確認し ました。

漏れた油の量は約3.4 リットルであり、漏えいが停止していることを確認しました。なお、本事象については、午前11時6分頃、消防本部へ連絡しております。

2. 今後の対応

潤滑油が漏れた原因について詳細に調査します。

3. 安全性、外部への影響

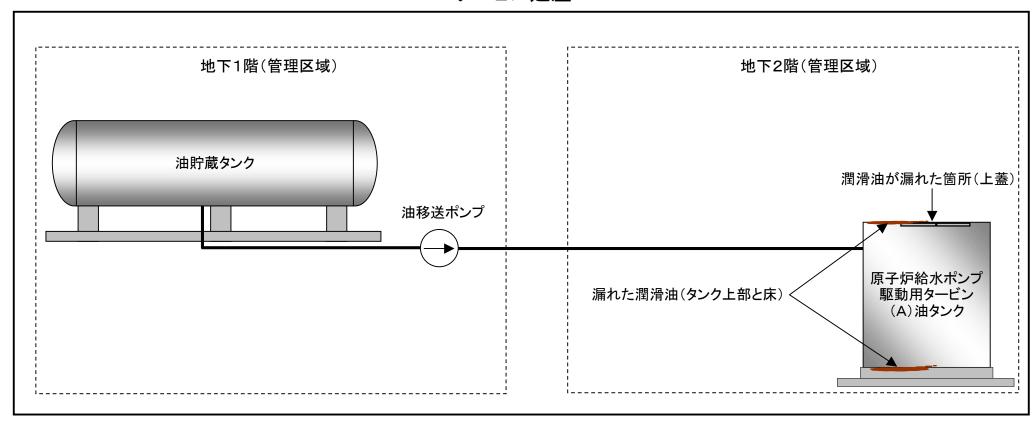
機器への影響はなく、安全性に問題はありません。本事象による外部への放射能の影響はありません。

以上

* タービン(原子炉給水ポンプ駆動用タービン)

発電所の通常運転状態において、原子炉へ給水するためのポンプを駆動させる蒸 気タービンで、2台設置されている。

タービン建屋



原子炉給水ポンプ駆動用タービン(A)潤滑油 移送系統概略図